

# L P G 船を命名

## 「VERMILION FIRST」 (ヴァーミリオンファースト)

一  
汽・丸  
紅向け

1月20日、香焼工場東1号岸壁で第一中央汽船(株)および丸紅(株)向けLPG(液化石油ガス)運搬船(2243番船)の命名式が行われた。

式には、メルビン駐日デンマーク大使ご夫妻、第一中央汽船(株)鶴丸常務、丸紅(株)関山副社長が出席され、当社からは船舶・海洋事業本部原副事業本部長夫妻、相馬所長夫妻ほか関係者が出席した。

メルビン大使令夫人が本船を「VERMILION FIRST(ヴァーミリオンファースト)」と命名され、引き続き支綱切断が行われた。

本船は、丸紅(株)から受注した2隻シリーズの1隻目。全長230<sup>メートル</sup>、幅36.6<sup>メートル</sup>、深さ20.8<sup>メートル</sup>、総トン数約46,500<sup>トン</sup>、タンク容量約78,500立方<sup>メートル</sup>。世界各地へのLPG輸送に従事する予定。



メルビン大使令夫人による支綱切断



「VERMILION FIRST」

# 立柱完了、機械工事が本格化

## パイトン3発電所(81.5万kW)

イン  
ドネ  
シア

1月14日、予定よりも1日早くボイラ建屋の立柱が完了した。また1月22日にはパイトンエナジー社をはじめ、関係者を招いて立柱式が行われた。

同プロジェクトは、ジャワ島東部にある既設パイトン発電所構内に、パイトンエナジー社向けに出力81.5万kWの超臨界圧石炭火力発電所を建設するもの。現在、長船が設計・供給する機器の建設が行われており、2012年4月の商業運転開始後は、インドネシアの石炭焚火力発電所としては最大級かつ最高効率の発電所となる。

現在、狭隘な現場で最盛期を迎えている土建工事と並行し、来年9月の火入れに向けた本格的な機械工事が開始した。



立柱式でボルトを締めるパイトンエナジー社・ブッチ氏(右)とフ建・西村現地所長



パイトン現場の皆さん